学校番号	J3025

令和５年度　【社会】科

学年	中２	週授業コマ数	3	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	「社会科　中学生の地理」（帝国書院）「新しい社会　歴史」（東京書籍）						
副教材等	アドバンス　中学地理資料（帝国書院）、中学校社会科地図（帝国書院）、みつけよう?と！ 歴史資料（とうほう）中学 WinPass 社会						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理学習の目標は、物ごとが世界のどこにあり、それらがどのように機能し、そしてそれらが全体の中でどのような位置を占めているのかを空間的に理解することです。歴史学習では出来事を覚えるだけではなく、主体者として過去の営みに触れながら、今の自分について深く考えることです。さらに自分自身が世界とどのように関わり、今をどのように生き、どんな未来を作り出していくのかを時間軸でより深く考えることが重要です。

2　学習の到達目標

（1）日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土　及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
（2）日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
（3）大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は、相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
（4）地域調査など具体的な活動を通して、地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理的・歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関係 を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題 の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象、歴史に関わる事象について、国家及び社会の担い手として、より良い社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近世の日本	世界の動きと統一事業 江戸幕府の成立と対外関係 産業の発達と町人文化 幕府の政治の展開	a:ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解することができる。 a:江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子などをもとに幕府と藩による支配が確立したことを理解することができる。 a:町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解することができる。 a:社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解することができる。 b:世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト 単元テスト ワークシート	パフォーマンス課題 レポート プレゼンテーション	授業での観察 ワークシート プレゼンテーション

	身近な地域調査	地域調査の手法	a: 調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解し、知識を身につけることできる。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図を作成することができる。 b: 調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c: よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。	小テスト 単元テスト ワークシート	パフォーマンス課題 レポート プレゼンテーション	授業での観察 ワークシート プレゼンテーション
2	日本の地域的特色	日本の地域的特色と 地域区分 ⑴自然環境 ⑵人口 ⑶資源・エネルギーと産業 ⑷交通・通信	a:⑴に関する特色を理解し、知識を身につけることできる。 a：⑵に関する特色を理解し、知識を身につけることできる。 a:⑶に関する特色を理解し、知識を身につけることできる。 a:⑷の特色を理解し、知識を身につけることできる。 a：⑴～⑷の項目に基づく地域区分をふまえ、国土の特色を大観し理解することができる。 a:各種の主題図や資料を基に、地域を区分することができる。 b: ⑴～⑷の項目について、各地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 b: ⑴～⑷の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。	小テスト 単元テスト ワークシート	パフォーマンス課題 レポート プレゼンテーション	授業での観察 ワークシート プレゼンテーション
	日本の諸地域	日本の諸地域 ⑴自然環境 ⑵人口や都市・村落 ⑶産業 ⑷交通や通信 ⑸その他の事象	a:幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解することができる。 a:左の⑴から⑸までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解することができる。	小テスト 単元テスト ワークシート	パフォーマンス課題 レポート プレゼンテーション	授業での観察 ワークシート プレゼンテーション

			b:日本の諸地域において、それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に取り組むことができる。			
3	近代の日本と世界	欧米における近代社会の成立とアジアの動き 明治維新と近代国家の形成	a:欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解することができる。 a:明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解できる。 a:立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解できる。 a:我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解できる。 b:欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 b:近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c: 近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト 単元テスト ワークシート	パフォーマンス課題 レポート	授業での観察 ワークシート プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度